

出題のねらい

ア. 全般的なねらい

思考力や想像力を働かせて国語を正確に理解し、的確に表現する力をみるために、国語の基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題した。

イ. 各問いのねらい

- ① 「文化」と「文明」の対比のもとで、「科学」と「技術」の違いを明らかにし、文化としての科学の役割と市民のあるべき態度について述べることで、科学を精神的な豊かさをもたらすものと結論づける説明的な文章によって、言葉の知識・意味、文章構成を考慮しつつ内容や筆者の主張を読み取る力をみるとともに、それを的確に表現する能力をみる。
- ② 無常観を根幹にもつ『方丈記』・『徒然草』と比較することで、『枕草子』と『清少納言集』の和歌に通じる、無常の世を主体的に生きようとする営みに焦点をあてた清少納言の文学の本質を述べた文章の一節を取りあげることによって、古典に関する基本的な知識や内容を読み取るとともに、古典の中に息づく人間の生き方をとらえ、それを的確に表現する能力をみる。
- ③ 家族の愛情に包まれて育った小学生「チヅル」の、姉「歌子」とのやりとりを通じて揺れ動く子どもらしい心情を描いた文学的文章によって、登場人物の心情を想像力を働かせつつ表現や構成に着目して読み取り、それを的確に表現する能力をみる。